

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

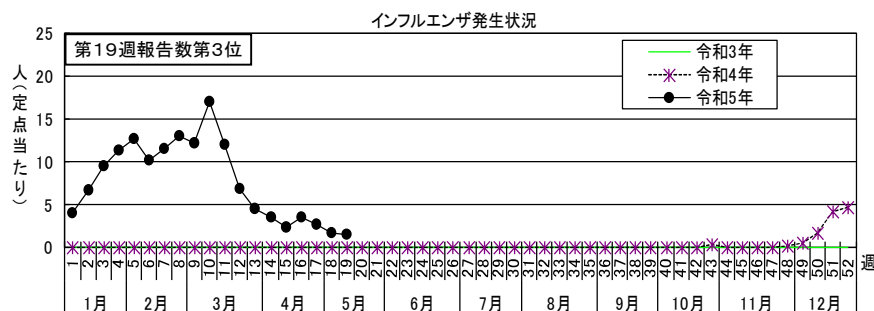
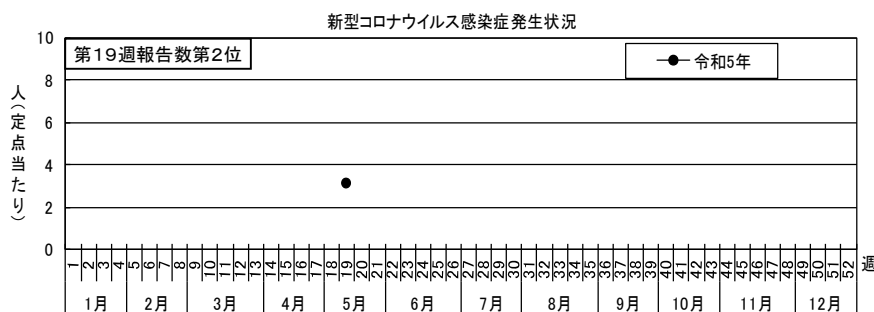
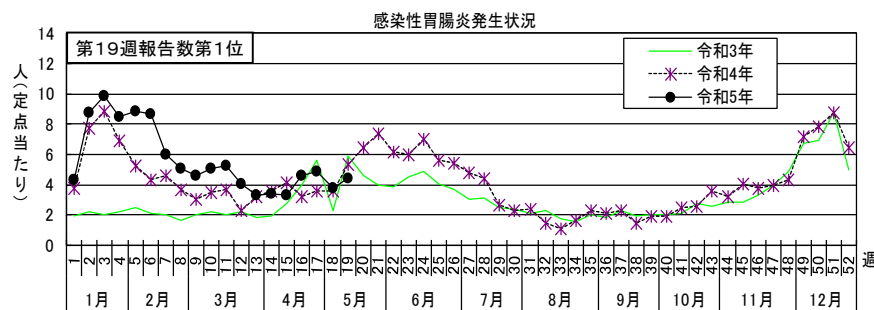
令和5年5月8日（月）～令和5年5月14日（日）〔令和5年第19週〕の感染症発生状況

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）新型コロナウイルス感染症 3）インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.43人と前週（3.73人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は3.11人でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.52人と前週（1.67人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



海外からの麻しん（はしか）の輸入例が増えています

令和4年10月に新型コロナウイルス感染症の流行による渡航制限が緩和されて以降、国内への麻しんの輸入例が増加しています。麻しんは感染力が非常に強く、最近では患者と同じ公共交通機関を利用したことで感染した事例も報告されています。免疫のない人が感染するとほぼ100%発症し、重症化すると死亡することもあります。現在国内では麻しんは排除状態にあるため、渡航先での感染例と、その二次感染例のみが報告されています。潜伏期間が長いいため、海外渡航をされた方は、帰国後2週間程度は体調変化に注意が必要です。

麻しんはワクチン接種が最も有効な予防方法です。定期接種の対象の方は確実に接種を受けましょう。

渡航後の注意事項

- ✓ 帰国後2週間程度は、麻しん発症の可能性もあるため、健康状態に注意する。
- ✓ 発熱や発しん等の症状がみられた場合は、医療機関に事前に連絡してから受診する。
- ✓ 医療機関には、帰国後であることを伝える。
- ✓ 受診する際は、可能な限り公共交通機関を使用しないようにする。

麻しんとは？

【感染経路】
空気感染、飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】
7～18日間（最長21日間程度）

【主な症状】
発熱、発しん、咳、鼻汁、結膜充血など

【予防方法】
ワクチン接種

